2025年度　第31回「富士市民大学前期ミニカレッジ」

主催：富士市教育委員会

趣　旨

「富士市民大学前期ミニカレッジ」は、各専門分野に精通している教授陣や地域の有識者と連携を図り、高度で有益な学習の機会を提供します。

今回も様々な分野から、全６科目の講座をご用意しました。どうぞお気軽にご参加ください。

講 座 内 容

※それぞれの講座についての詳細は 36～38 ページをご覧ください。

No.	科目	期間 時間　※1 曜日	回数	定員 受講料	会場
1	表現力アップ！読み聞かせ・話し方講座 ～プロから学ぶ「表現の楽しさ」「言葉の大切さ」「日本語の美しさ」～	5月20日～7月22日 19:00～20:30 火曜日	9回	20人 2,500円	富士市教育プラザ
2	市民歴史講座 「華ひらく出版文化 ～江戸のメディアの夢噺（ゆめばなし）～」	6月4日～7月2日 19:00～20:30 水曜日	5回	80人 2,000円	
3	“わかる”と“かわる” 食が与える健康への影響	6月2日～6月16日 18:30～20:30 月曜日	3回	60人 1,500円	
4	くらしを豊かに！工学大国日本の今 ～AI・自動車エネルギー・福祉ロボット～	5月30日～6月20日 18:30～20:30 金曜日	3回	60人 1,500円	
5	支えあう「いのち」の輪 ～生物多様性の危機～	6月30日～7月28日 18:30～20:30 月曜日	3回	60人 1,500円	
6	芸術作品からひも解く、 近現代ヨーロッパの文化と社会	7月3日～7月31日　※2 18:30～20:30 木曜日　※2	3回	60人 1,500円	

※1　1～2の講座は 19：00～（90 分）、3～6の講座は 18：30～（120 分）の講座となります。

※2　6 の講座日程は、2025 年 1 月時点のものとなります。市ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

申し込み

★定員を超えた講座については、抽選にて受講生を決定します。受講料は、抽選後の納入となります。
４月８日（火）に抽選を行い、申込者全員に郵送にて受講可否の連絡をします。
★すべての講座において、ペア申込が可能です。申込時に１人申込またはペア申込どちらか選択してお申し込みください。（重複申込不可）

対　　象　富士市・富士宮市に在住、在勤、在学の 15 歳以上の方（中学生は除きます。）

受付期間　2025 年3月25日(火) ～ ４月６日(日)

申し込み方法 ①　インターネットから申し込み（期間中 24 時間受付）

●スマートフォンからの申し込み

（1） 右の**二次元バーコード**をスマートフォンの**バーコードリーダー機能**で読み取り、表示された URL（https://logoform.jp/form/5KXT/49430）にアクセスします。

（2） 申し込み入力フォームに必要事項を入力し、最後に「申し込む」ボタンを押します。

（3） 入力されたメールアドレス宛に受付確認メールが届いたら申込完了です。
※一部対応していない機種がございます。ご了承ください。

●パソコンからの申し込み

（1） 検索ソフトに『**富士市民大学**』というキーワードで検索します。　富士市民大学　検索

（2） ページ内『2025 年度【第 31 回富士市民大学前期ミニカレッジ】受講申込』をクリックします。

（3） 申し込みフォームに必要事項を入力し、最後に「申し込む」ボタンを押します。

（4） 入力されたメールアドレス宛に受付確認メールが届いたら申込完了です。
※お使いのパソコンの動作環境によっては、利用できない場合があります。

●電子申請をする場合の注意点

（1） お申込みいただいた方の受信拒否設定により、受付確認メールが届かない場合があります。ご自身で設定していない場合でも、初期設定で受信拒否になる場合もございますので、確実に、以下のドメインを受信できるように設定の変更をお願いします。

『logoform.jp』　『div.city.fuji.shizuoka.jp』

（2） 複数の講座に申し込む場合は、先に選択した講座の申し込みが完了した後、再度、別の講座を選択してお申し込みください。

申し込み方法 ②　窓口に直接来て申し込み

所定の申込用紙に記入し、以下の申込場所までお持ちください。

9:00～21:00	富士市教育プラザ１階社会教育課（0545-30-6820）（日曜日を除く）
	各地区まちづくりセンター
9:00～17:00	富士山かぐや姫ミュージアム（0545-21-3380）（月曜日を除く）

1 表現力アップ！読み聞かせ・話し方講座

～プロから学ぶ「表現の楽しさ」「言葉の大切さ」「日本語の美しさ」～

子ども達への読み聞かせ、会議や会合でのプレゼンテーション、人とのコミュニケーションなどあらゆる場面で求められる「表現力」。自分の考えや思いを言葉にのせて伝える「表現力」を身につけましょう。

※定員を超える申し込みがあった場合は、初めて受講される方を優先します。

1	5月20日（火曜日）	「声を出す」ということ 普段なにげなく使っている「声」をもっと知りましょう。	6	7月 1日（火曜日）	「言葉の意味」ということ ひとつひとつの言葉の意味を考えましょう。
2	6月 3日（火曜日）	「伝える」ということ 「伝わらない」のではなく「伝えていない」ということはありませんか？	7	7月 8日（火曜日）	「しっかり伝える」ということ 「伝える」ことの真の難しさを考えましょう。
3	6月10日（火曜日）	「読む」ということ 文字を「読む」のではなく、文を「読む」のです。	8	7月 15日（火曜日）	「語る」ということ 自分の考え・思いを伝えるには･･･
4	6月17日（火曜日）	「表現する」ということ① 表現する方法論を知りましょう。	9	7月22日（火曜日）	「響く」ということ 聞く人の耳に届き、心に響く表現を目指しましょう。
5	6月24日（火曜日）	「表現する」ということ② オーバーに言い表すことが「表現」ではありません。			

担当講師：フリーアナウンサー・新朗読家
杉山　直　氏

2 市民歴史講座 「華ひらく出版文化　～江戸のメディアの夢噺（ゆめばなし）～」

本講座では、『華ひらく出版文化　～江戸のメディアの夢噺～』をテーマとし、前半は、広く出版の歴史と江戸時代の浮世絵等の出版ブーム、江戸のメディア王・蔦屋重三郎の生涯について学んでいきます。また後半は、浮世絵版画の魅力や彫師、摺師の技や秘密、さらには駿河国を描いた浮世絵の世界について学んでいきます。

なお、富士山かぐや姫ミュージアムでは、本講座に関連した企画として、春のテーマ展「浮世絵版画の世界」（2/1～4/13）、及び、夏のテーマ展「江戸時代の出版事情」（4/26～8/17）の展示を実施します。

1	6月 4日（水曜日）	東アジアにおける日本の出版文化　― 17世紀まで ―	国文学研究資料館 教授　入口　敦志　氏
2	6月11日（水曜日）	江戸時代と出版文化　― マスコミ文化のルーツ ―	早稲田大学　演劇博物館 招聘（しょうへい）研究員　深谷　大　氏
3	6月18日（水曜日）	出版プロデューサー・蔦屋重三郎 ― 十返舎一九との交流を中心に　―	
4	6月25日（水曜日）	浮世絵版画の世界①　― 繊細な多色摺の技術 ―	神奈川大学　国際日本学部 准教授　藤澤　茜　氏
5	7月 2日（水曜日）	浮世絵版画の世界②　― 浮世絵に描かれた駿河の景 ―	静岡市東海道広重美術館 学芸員　山口　拓海　氏

3　“わかる”と“かわる”　食が与える健康への影響

健康的な身体をつくり、維持するためには、食事・睡眠・運動の３つの要素が重要です。本講座では、その中でも、体の資本となる「食事」について学びます。

健康的な食生活とはどういうものなのか、気を付けるべきことは何か等、食事について知らないことは数多くあります。その中でも、第１回は、食事や栄養の適切な摂り方、第２回は、健康食品の効果と安全性、第３回は、健康的でバランスの良い食事を摂るための「食環境整備」の重要性について解説し、食と健康のかかわりについて学びます。

1	６月２日 （月曜日）	「生体の代謝から見えてきた、賢い食事の摂り方」 身体の代謝（化学反応）から、いつ・何を食べる必要があるのか、理由とあわせて解説します。	静岡県立大学　食品栄養科学部 教授　新井　英一　氏
2	６月９日 （月曜日）	「健康食品の有効性と安全性　～薬学の観点から～」 「効く」とはどういうことかを薬学の観点から説明し、健康食品の有効性と安全性について考察します。	静岡県立大学　薬学部 講師　伊藤　由彦　氏
3	６月16日 （月曜日）	「健康的な食環境を創る・支える ～「健康な食事・食環境（スマートミール）」が目指すもの～」 スマートミール制度について、その現状や背景等から、健康のための食環境作りの大切さを学びます。	静岡県立大学　食品栄養科学部 教授　市川 陽子　氏

4　くらしを豊かに！工学大国日本の今
～AI・自動車エネルギー・福祉ロボット～

日本における工学分野は、世界から高い評価を受け、高度経済成長期には「ものづくり大国」として知られていました。現在は、コンピューター等の発達により、より高度な技術開発がなされ、国際競争が活発化しています。

本講座では、AI などの情報工学、自動車分野でのエネルギー工学、福祉分野でのロボット工学の３つの視点から、工学分野について学びます。日本が誇るものづくり技術について、その現状や課題等への理解を深めましょう。

1	５月30日 （金曜日）	「AI の利点と課題：AI の利便性と潜在的リスクを知る」 AI（人工知能）の基本概念から応用事例、リスク最小化のための取り組みや課題等について、具体例を通して学びます。	静岡大学　情報学部 准教授　大木　哲史　氏
2	６月１３日 （金曜日）	「カーボンニュートラルに向けた自動車用エネルギーの将来展望」 多様化が進む自動車用エネルギーの特性を踏まえ、カーボンニュートラルに向けた、日本における自動車用エネルギーの将来について考察します。	静岡理工科大学　理工学部 准教授　野内　忠則　氏
3	６月20日 （金曜日）	「人を支援するロボット工学　～ロボット技術の福祉への応用～」 幅広い分野で応用されているロボット技術について、「福祉分野」での現状や展望等をお話しします。	静岡大学　工学部 准教授　伊藤　友孝　氏

5　支え合う「いのち」の輪　～生物多様性の危機～

地球上の生物は、数多の進化を繰り返すことで、変化し続ける環境に適応してきました。その結果、現在、地球上には約 3,000 万種もの生物が存在していると推定されており、互いに影響しあい、支えあって生きています。

しかし、昨今、このような生物の多様性が失われつつあることが、世界中で問題となっています。この生物多様性の減少は、直接的、または間接的に、人間の活動の影響を大きく受けているとされています。

本講座では、生物多様性の重要性や、生物と人とのかかわりについて学んでいきます。私たちが今できることは何か、生物多様性を保持するためにはどうすれば良いのかを考えていきましょう。

1	６月 30 日 （月曜日）	「今なぜ生物多様性なのか」 虫が支える生態系や、多様な生物とともに生きる意味について学びます。	元　常葉大学　社会環境学部 非常勤講師　加須屋　真　氏
2	７月 14 日 （月曜日）	「生物種の絶滅はいかにして持続可能性を損傷するのか」 種の絶滅による環境の劣化は、人間社会にどんな災難をもたらすのかをお話しします。	常葉大学　社会環境学部 准教授　小杉山　晃一　氏
3	７月 28 日 （月曜日）	「植生から読み解く生きもの環境」 植生から、富士市の生き物や生息環境の多様性を読み解きます。	常葉大学　大学院　環境防災研究科 教授　浅見　佳世　氏

6　芸術作品からひも解く、近現代ヨーロッパの文化と社会

芸術は、自己を表現し、人生を豊かにするものとして、長年多くの人々に愛されてきました。その歴史の中で、最も時代の変動が激しい、18 世紀末～現代に至るまでのヨーロッパに焦点を当てて学んでいきます。当時のヨーロッパ社会において、芸術はどのような役割を果たし、どのような影響を与えたのでしょうか。

本講座では、美術、音楽、演劇の３つの観点から、近現代ヨーロッパの文化と社会について探っていきます。芸術と、文化・社会とのかかわりについて、教養を深めていきましょう。

※本講座の日程は、仮のものとなります。（2025 年１月時点）
市ウェブサイトにて随時更新いたしますので、以下の二次元コードより、最新情報をご確認ください。

1	７月３日 （木曜日）	「西洋の風景画のなりたち　―ロマン派から印象派まで」 16世紀のドイツで成立した風景画について、18～19世紀の変遷をたどることで、当時の人々の自然観の変化を探ります。	静岡文化芸術大学　文化政策学部 講師　藪田　淳子　氏
2	７月 17 日 （木曜日）	「近代ヨーロッパの音楽文化と二つの世界大戦」 ヨーロッパ諸国の音楽文化について、ナショナリズムや世界大戦など、当時の社会状況に受けた影響を学びます。	静岡文化芸術大学　文化政策学部 教授　上山　典子　氏
3	７月 31 日 （木曜日）	「近現代ヨーロッパの演劇・舞台芸術と国際交流」 当時の異国趣味の流行と、演劇の国際化から、舞台芸術が社会に与えた影響について考察します。	静岡文化芸術大学　文化政策学部 講師　田ノ口　誠悟　氏

※講座の最新情報については、市ウェブサイトにて随時更新いたしますので、
右の二次元コードよりご確認ください。

※講師・各回テーマ・日程については、都合により変更となる場合がございます。

※職名は、2025年１月時点のものとなります。

何でも聞こう!!

「市政いきいき講座」案内

「市政いきいき講座」は市職員を派遣し、市民の皆さんに市の業務内容や専門知識の紹介を講座として提供するもので、各種多数のメニューを用意しています。

●講座メニュー

・講座メニューは全部で7分野（1市政、2市民生活、3教育文化、4生活安全、5健康・福祉、6環境、7まちづくり）となっています。

◆講座メニューの詳細は、富士市ウェブサイトhttps://www.city.fuji.shizuoka.jp/の他、富士市教育プラザ1階社会教育課、市内の各まちづくりセンターにある案内冊子をご参照ください。

●申込方法

・希望講座が決まりましたら、希望日の1ヶ月前までに講座担当課にご連絡のうえ、利用申請書で直接、講座担当課にお申し込みください。

●開催会場と時間

・会場の手配は、申込者でお願いいたします。（原則として市内に限ります。）

・時間は、原則として月曜日から土曜日までの午前９時から午後９時までの間で、２時間以内とさせていただきます。
（ただし、祝日及び年末年始は除きます。）

●その他

・政治、宗教、営利活動等のためには派遣できません。

・講座に関する質問や意見交換は行いますが、苦情や要望などはご遠慮ください。

・業務の都合等によりご希望の日程に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●問い合わせ先

・その他、ご不明な点等がありましたら、下記までお問い合わせください。

富士市教育委員会　社会教育課　0545-30-6820

〔富士市ウェブサイト〕